



6月に行われた自由民主党千葉県支部連合会 第50回大会

政務調査会 副会長に就任!

県民与党として、責任ある活動をすべく 党務にも積極的に取り組んでいきます!

党務においては、自由民主党千葉県連副幹事長に就任。絶対多数「県民与党」の責任ある立場を忘れる事なく、党県連中核として幹事長を補助し、党全般の方針決定に参与いたします。

政務調査会副会長としては、党としての政策立案や、県執行部の議案等を細かくチェックし、県民の側に立った党の施策・方針、要望等を策定してまいります。また、二元代表制による議員の地位を忘れることなく、議員側からの提言力の強化を図ってまいります。

- 6月16日に開催された第50回県連定期大会では、岡村泰明 政務調査会会長が今年度の政策活動の目標「真の県民本位の千葉県を築き、分権時代地方の時代をリードしよう」をスローガンに掲げ、厳しい財政運営の中、予算編成に際し、緊急性かつ重要度の厳しい精査を行い、
- ① 水道総合対策補助、
 - ② 私立学校経常費補助、
 - ③ 耐震化の推進と防災対策の充実、
 - ④ 医療体制の充実と医師の確保、
 - ⑤ 子育て支援の充実、
 - ⑥ 有害鳥獣対策の強化、
 - ⑦ 中小企業振興策の充実、
 - ⑧ 観光の振興、
 - ⑨ 土地改良事業及び「農地・水・環境保全向上対策」の推進等による農業県ちばの確立、
 - ⑩ 国道・県道の整備促進と維持補修の充実、
 - ⑪ いじめ対策、
 - ⑫ 警察官等の増員

の12項目を重点として絞り込み要望し、全ての予算措置を獲得したと報告。

新体制のわが党県連は、「県民与党」の立場から、議会対応を中心とする県政に対しては是非々の姿勢であらゆる局面に対応すること、改めて明確にするものであります。その議会対応は、二元代表制のなかで、独任制の知事に対して合議体である議会に求められる「監視機能」の一層の強化を図り、チェック・アンド・バランスの実効性を上げていかなければなりません。同時に、議会そのものの改革も、わが党が率先して提案し、着実に実現してまいります。

また、今後とも、その使命を十分に認識し、きめ細かな県民対話による地域の要望・ニーズの把握に努めてまいります。その上で、将来を見越した的確な政治の指導力を発揮し、時代を見据えた政策の立案・実行に努め、地方の時代・分権時代にふさわしいバランスがとれ真に全国をリードする先進県千葉づくりのため県民とともに邁進してまいります。と述べた。

自由民主党千葉県連

副幹事長就任!

総務常任委員会の活動は多岐にわたり、各委員会の中でも特に重要な役割を担っています。

TOPICS

総務委員会って、どんなことをしているの?

県の仕事は、社会福祉、環境、商工労働、農林水産業、土木、教育など、広範多岐にわたっています。そこで、県議会では、総合的、能率的な議会運営を図ることを目的に、選任された専門的知識を持つ特定の委員で構成される合議制機関として、次のような委員会を設置しています。

- 議会運営委員会 ● 特別委員会 ● 法定外委員会

常任委員会は、議会の内部組織として、その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議会に提案された議案、請願等を専門的・能率的に審査するために設置されています。

総務常任委員会は、県の組織及び職員、議会及び県の行政一般、県の予算・税その他財務、市町村その他公共団体の行政一般、文書、私学、消防及び防災、会計指導、出納検査、県議会、選挙、監査に関することを主な所管事項とし、①財政課では予算の編成・財政改革 ②市町村課では市町村の行政及び財政の助言・町村合併 ③消防地震防災課では、消防に関する市町村との連絡及び市町村相互の連絡協調、計画の作成・地震対策・災害対策などの分掌事務を行い、まさに県の中枢と言えます。

北総地域の観光入込客数は、対前年比で4エリア中トップ!

これからの観光シーズンを迎えるに当たって、DCCキャンペーンを一つのステップとして、東洋のドーバーと称される屏風ヶ浦や、犬吠埼灯台など豊富な観光資源を有する銚子のポテンシャルをフルに活かし、今後ますます観光業が発展するために県政を通じて、豊かな地域づくりのために層々の努力をまいります。

ちばデスティネーションキャンペーン結果

今回は、今年2月1日から4月30日に行われた、ちばデスティネーションキャンペーンについて県と千葉観光プロモーション協会がまとめた中から期間中の観光入込客数と宿泊客数についてご紹介します。(結果は別表の通り)

【観光入込客数】 延べ3,015万人(前年同期比222万人、7.9%増)
 【宿泊客数】 延べ357万人(前年同期比13万人、3.9%増)
 ★北総地域の内、下の()内は、海匝地域の結果です。

	観光入込客数				宿泊客数			
	H19	H18	増減	対前年比	H19	H18	増減	対前年比
総計	30,147	27,929	2,218	107.9%	3,572	3,437	135	103.9%
ベイエリア・東葛飾地域	13,796	13,274	521	103.9%	1,785	1,687	98	105.8%
北総地域	5,812	5,105	707	113.8%	731	690	40	105.8%
(海匝地域)	(1,063)	(930)	(133)	(114.3%)	(99)	(95)	(4)	(104.2%)
九十九里地域	2,550	2,488	62	102.5%	271	259	12	104.8%
南房総地域	7,989	7,061	928	113.1%	785	800	△16	98.1%

